

令和7年度 第1回学校評価 1学期末保護者アンケートの結果

7月に実施しました学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。本年度後半を迎えるにあたり、これまでの学校運営を振り返り、教育活動をさらに充実させていくための大切な資料として活用してまいります。

・グラフは、4段階評価のA B評価に当たる「そうしている」と「ややそうしている」を合計した割合を示したものです。

・目標値に達している項目を黄色で表示してあります。

対象	No.	質問内容	児童	保護者
連携	1	学校、学年・学級からのおたよりやお子さんの話などから、学校の様子やお子さんの活動の様子が分かりますか。	80.2	88.8
	2	学習参観や懇談会、PTAの諸活動に参加していますか。	-	96.3
	3	学校は、お子さんのことに関わる連絡や相談などに、適切に応じていますか。	95.0	93.6
確かな学力	4	お子さんは、「授業が分かる」と言っていますか。	97.0	87.2
	5	学校は、一人一人を大切に、分かりやすく教えていると思いますか。	97.7	90.4
	6	自分の生活の中で、学習したことを生かしていますか。	91.9	-
	7	お子さんは、英語活動や英語の時間は楽しいと言っていますか。	88.6	86.7
	8	お子さんは、宿題や塾等を含めて、家庭で学習や読書、自主勉強をしていますか。	87.6	79.3
豊かな心	9	お子さんは、進んであいさつができますか。	94.0	82.4
	10	お子さんは、時や場、相手に応じた言葉づかいができますか。	95.0	75.5
	11	お子さんは、相手の立場や気持ちを考えた親切な言動がとれていますか。	97.0	87.2
	12	みんなが笑顔になるよう考えて行動し、友だちと仲よくすごしていますか。	97.0	-
	13	学校は、いじめの発生予防に努め、いじめを許さない学級・学校づくりに努めていると思いますか。	-	85.6
	14	お子さんは、学校のきまりや、約束を守れていますか。	92.6	92.6
	15	お子さんは、「学校が楽しい」と言っていますか。	94.3	88.8
	16	お子さんは、家族の一員として家でお手伝いをしていますか。	83.2	82.4
健康体力	17	お子さんは、毎日朝食を食べていますか。	95.3	96.3
	18	お子さんは、十分な睡眠時間確保のために、家庭で決めた時間までに寝られていますか。	83.6	87.2
	19	お子さんは、帰宅後や休日に外で遊んだり、運動していますか。	86.9	83.5
環境全づく保り・	20	学校は、交通安全や避難訓練など、子どもの安全を確保することに努めていますか。	98.7	95.7
	21	お子さんは、正しい歩行の仕方や自転車の乗り方ができていますか。	99.7	93.1
	22	ヘルメットをかぶり、交通ルールを守って自転車に乗っていますか。（4年生以上）	98.7	-
	23	家庭では、登下校における交通安全や不審者の対応について話し合っていますか。	83.5	89.4
	24	「しっかり掃除」を行い、学校や教室をきれいにしていますか。	98.0	-
	25	学校は、花壇や教室の環境を整え、子どもが気持ちよく生活できるよう、教育環境づくりに努めていますか。	-	93.1
進路	26	機会をとらえて、お子さんの将来の夢や希望について、親子で話し合うようにしていますか。	86.6	82.7

なお、アンケート結果の中で、他の項目に比べて目標値に対してやや評価が低かった以下の項目において、改善策を講じてまいります。

<確かな学力>

- ・「お子さんは、授業が分かると言っていますか」
- ・「お子さんは、英語活動や英語の時間は楽しいと言っていますか」

<豊かな心>

- ・お子さんは、時や場、相手に応じた言葉づかいができますか。
- ・学校は、いじめの発生予防に努め、いじめを許さない学級・学校づくりに努めていると思いますか。

【改善の手立てや今後の重点について】

（１）「確かな学力」について

▲「授業が分かる」、「英語活動や英語の時間は楽しい」に関して

■ 主な改善策

1. 授業の「分かる・できる」実感を高める工夫

- ・各教科で「めあて」や「まとめ」を明確にし、子どもたちが自分の学びを振り返る時間を大切にします。
- ・一人ひとりの理解度に応じた支援やペア学習、小グループ学習等をこれまで以上に取り入れ、聞く力や自ら学ぶ力を育て、個別支援の充実によりつまづきに早く気づけるよう努めます。

2. 英語活動・英語の時間の楽しさを高める工夫

- ・ゲームや歌、身体を使ったアクティビティなどを行っていますが、さらに児童が英語に親しみを持てる活動を工夫していきます。
 - ・ES（イングリッシュサポーター）やALT（外国語指導助手）との交流をさらに充実させ、生きた英語に触れる機会を多くします。
 - ・英語の授業で使われる語句や表現を、生活や他教科とも関連づけて活用し、実感を伴った理解を促します。
- 今後も、子どもたちが「分かった!」「楽しかった!」と感じられる授業を目指し、教職員一同研修を重ねながら取り組んでまいります。

（２）「豊かな心」について

▲「時や場、相手に応じた言葉づかい」、「いじめを許さない学級・学校づくり」に関して

■ 主な改善策

1. 言葉づかいに関する指導の充実

- ・日常において、「丁寧な言葉」、「友達を思いやる言葉」、「場面に応じた言葉づかい」などを伝えていますが、今後はより具体的な例を交えながら意識的に指導していきます。
- ・朝の会や帰りの会、道徳の時間等を活用し、言葉の大切さについて話し合う機会を設けます。
- ・友達同士の会話の中でも、適切な言い換えや伝え方について一緒に考え支援していきます。

2. いじめ防止に向けた継続的な取り組み

- ・日常的な観察やアンケートによる早期発見に努めると共に、年間を通じて「いじめをしない・させない・見逃さない」ことを全校で確認し合う活動を行っていますが、さらに定期的な振り返りや啓発活動を充実させます。
- ・学級会や道徳の授業等を通して、友達との関わり方や相手の立場に立って考える力を育てていきます。
- ・児童が悩みを抱え込まずに相談できるよう、担任はもちろんスクールカウンセラーとの連携を強化するとともに、「話していい場所」「助けを求めている相手」がいることを日常的に伝えていきます。